

右及中(通)報後也

概由

以上

勞種第二八七〇號
昭和四年十一月廿五日
警視總監 丸山鶴吉

以
社務大臣安達謙
社務局長
京都大阪神奈川三都府縣知事

14. 11. 26
891

細井ヤリ工場争議解決、件 (第三報)
十一月二十日及二十一日、交渉八会社側ハ一割四分値下ヲ固持、従業員側ハ一割二分
値下及争議不参加者八名解雇ヲ主張シ、争議團本部ヲ解散シ形勢悪化、傾向アリ
十一月七日常務廳内待課ノ調停ニ依リ、常務五分、乃至七分五厘、請取一割
乃至一割五分値下及退職者三六規程ノ退職手当支給條件ヲ内閣解決セリ

標記争議ニ付キテハ、厚俸、受本月二十日及二十一日、二山日会社事務所
ニ於テ會社側 甲藤通外三名 従業員側 前原定次 外六名ニ
関金本部員岡谷急之助ヲ加ヘ交渉シタルカ、結局労働者側ハ賃銀一割

加